



すさき

令和8年1月号

社協だより

第163号

令和8年(2026)1月1日発行
編集発行

須崎市社会福祉協議会

〒785-0007

高知県須崎市南古市町6-3

(0889)42-0736(代)

FAX 42-7876

<https://susaki-syakyo.or.jp>

印刷 有限会社 笹岡印刷所

42-0244

注目の記事

P2

新年ご挨拶

P3

須崎総合高校での出前授業
マルナカde認知症カフェ

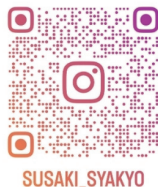
P6

社会福祉大会のお知らせ



(令和7年度 いきいき芸能大会)

須崎社協の
Instagram
はこちら



SUSAKI_SYAKYO

まちなか
サロンのライン
はこちら



ボランティア
センターの
ラインはこちら





あけまして
おめでとうございませぬ。

年頭のご挨拶

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げますと共に、旧年中は本会の諸事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

社会がコロナ禍を乗り越え、交流の機会が再び活発化したことを喜ばしく思う一方、私たちの地域福祉を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。少子高齢化の更なる進行、過疎化に伴う人口減少、また、国際情勢に端を発した物価高騰の長期化により、市民の皆様の暮らしは大きな影響を受け、生活上の課題は孤独・孤立や経済的困窮といった側面が一段と重みを増し、一層複雑化・深刻化しています。

本会は、地域福祉を推進する中核組織として、このような複合的な生活課題に対応するため、これまで以上に「誰一人取り残さない」という強い決意を持ち、地域住民の皆様、関係機関・団体の皆様との「重層的な協働」を進めてまいります。特に、市行政とともに推進する「地域共生社会」の

社会福祉法人須崎市社会福祉協議会

会長 西村 貴尚

実現に向け、生活課題を抱える方々への包括的な相談支援体制を強化し、そのニーズに立脚したきめ細やかな地域福祉を担っていく調整力・行動力が求められています。

そのため、本会としては、市行政をはじめ、各地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、市内の社会福祉法人やボランティア団体など、地域福祉を推進するすべての主体と連携し、課題を共有し、市民の皆様の「自分らしい暮らし」を支えていく事こそが最大の使命だと考えます。

「住民の誰もが安全で安心して暮らせるあたたかい福祉のまち」を目標に、私たち社会福祉協議会は、役職員一同、時代の変化に先んじて取り組みを進めて参りますので、市民の皆様の更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、本年が皆様にとりまして希望と飛躍に満ちた素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。

令和8年1月



本年もよろしくお願いいたします

須崎市社会福祉協議会 役職員一同

岡崎 智子	船井 五月	伊與木 加代	宮本 圭子	西田 亜希子	木下 美鈴	笹本 志保	田井 美千代	相馬 令紗	伊藤 睦樹	中川 剛	池田 侑子	山内 和也	総務福祉課	森本 智宏	事務局長	大崎 正人	戸梶 稔	監事	川北 徹	大崎 健夫	松岡 磨	中村 伸也	山岡 正昭	竹内 晶子	高橋 晶子	理事	森田 知性	石見 圭一	副会長	西村 貴尚	会長
-------	-------	--------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	----	------	-------	------	-------	-------	-------	-------	----	-------	-------	-----	-------	----

(令和7年12月現在)



藤澤 雛子	山崎 千賀	林 美紀	中野 紀子	岡田 絹恵	福井 希子	松田 佳乃	高橋 代乃	原 麻里	野久保 玲美	佐々木 真紀	濱 晃	近藤 大地	下元 京	地域包括支援センター	山口 純奈	田邊 玲佳	溝辺 尚子	井上 隆史	寺元 琉花	古谷 公宏	小嶋 弥香	大和田 志	笹岡 佳世	嶋崎 幸輔	松本 幸輔	橋本 真記	生活支援・総合相談センター
-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	--------	--------	-----	-------	------	------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------------

ほっと はこんなこともしています



須崎市社会福祉協議会の中にある総合相談センターほっとは、令和7年11月18日に須崎総合高等学校で出張授業を行いました！

内容は、「自分を知って、これからの生活をイメージしよう！」というタイトルのもと、卒業後の生活で困ったことがあった時に力を貸してくれる相談先として社会福祉協議会の存在を知ってもらうというものでした。

生徒の皆様からは「相談する大切さを知った」「お金の使い方を考えていこうと思った」「成人した後のことについて知ることができるいい機会だった」などの感想を頂きました。また、社会福祉協議会について「暮らしを支える仕事をしている」「先の未来まで寄り添ってくれる心強い存在」「困ったことがあったら相談したい」など沢山の嬉しいお言葉を頂きました。今回の授業が皆様のこれからの生活に役に立てば幸いです。

須崎市社会福祉協議会は、これから進学や就職など新しい環境で生活をしていく皆様を応援しています！

困りごとや相談ごとがあればいつでもお気軽にご相談ください。

【お問い合わせ】須崎市生活支援・総合相談センターほっと ☎0889-40-0358



マルナカde認知症カフェ

—主催：須崎市地域包括支援センター・須崎市長寿介護課—

11月7日、11月25日の2日間にわたり、マルナカ須崎店にて「認知症カフェ」を開催いたしました。今年度初の取り組みとなる今回のイベントは、マルナカ須崎店様、明治安田生命様、就労支援センターらいふ様のご協力のもと、無事に実施することができました。

今回は事前の周知を行わず、日常的にお買い物に訪れる方々に自然と立ち寄りいただけるような【オープンカフェ】形式で開催をしました。

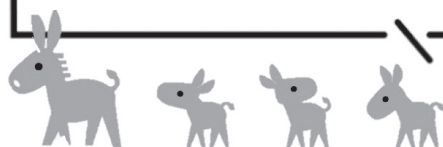
認知症カフェとは…

認知症があるかどうかに関わらず、誰でも立ち寄ることができる居場所です。「コーヒーやお茶を飲みながらほっと一息」「人と人が繋がる」「情報交換ができる」場所を言います。

★設置ブース

- ・認知症に関する情報コーナー
- ・血管年齢チェック
- ・らいふ様によるお菓子販売
- ・交流できるカフェスペース

ご来場いただいた皆様には、それぞれの目的でお立ち寄りいただきました。



【お問い合わせ】須崎市地域包括支援センター ☎0889-42-1206



まちなかサロンだより

まちなかサロンは、地域のだれでも気軽に立ち寄れる“ほっとひと息”の居場所です。
おしゃべりしたり、趣味を楽しんだり、新しいつながりが生まれる場所。
「ちょっと行ってみようかな」そんな気持ちをお待ちしています。



みんなでチャレンジ！まちなかクイズ

まちなかサロンにちなんだクイズです。

○か×か、考えてみましょう！



Q1. まちなかサロンは、予約なしで参加できる。

→ 答え：○

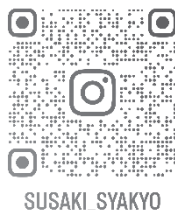
ふらっと来てOK！はじめての方も大歓迎です。



Q2. おしゃべりが苦手な人は参加できない。

→ 答え：×

本を読んだり、作業に集中したり、
楽しみ方は自由。
あなたのペースで過ごせます。



SUSAKI_SYAKYO

まちなかサロンはってん

場所➡須崎市西糺町10-15

開所日➡毎日（土・日・祝休み）

開所時間➡9時30分～16時

その他、新町・山手町・妙見町でも
サテライト開所しています。詳しい
ことはお問い合わせください。

☎0889-59-2022まで

須崎市社会福祉協議会の
Instagramです。

毎月のかわらばんを掲載して
います。要チェック！！

訪問介護ヘルパー募集

資格要件

介護職員初任者研修（ヘルパー2級）以上

仕事内容

生活援助（買物、調理、掃除、洗濯など）

身体介護（排泄介助、入浴介助、移乗など）

賃金

時給1,100円から【各種手当、勤続年数による時給UPあり】

休暇

有給休暇あり 勤続6年～最大付与20日 半年勤務で最低1日以上

（※働く時間日数等で付与日数は変わります）

週間シフトによる勤務のため、ご希望の休みや有給休暇も取得しやすい環境です。

詳細は面談にてご説明いたします。お気軽に電話にてお問い合わせください。



【お問い合わせ】 指定訪問介護事業所 ☎0889-42-0789

令和7年度須崎市社会参加支援事業(スポーツ・レクリエーション開催)

この事業は、障害のある方がレクリエーションなどを通じて健康増進や社会参加を図ることを目的に、毎年開催しています。

本年度は、9月30日(火)に香南市の絵金蔵と県立のいち動物公園へ行ってきました。

絵金蔵では、朱色や緑の鮮烈な色使い、そしてそこに描かれた歌舞伎役者の表情や血まみれの場面の生々しさに目を奪われました。

のいち動物公園では、まず、動物との距離の近さを感じられました。特にカワウソのコーナーでは、水の中をスイスイ泳ぎ回る姿がガラス越しに目の前で見られて、思わず立ち止まって見入ってしまいました。また、園内は緑が多くて、動物園というより大きな公園の中を散歩しているような気分になりました。のんびり歩いて、時々ベンチで休んで、ゆったり過ごせました。

来年度も、障害者スポーツやレクリエーション活動等を通して、健康増進や社会参加につながる活動を企画していきますので、多くの方のご参加をお待ちしています。



須崎市ボランティアセンターからのご案内

『ボランティアって楽しい! ? はじめの一步講座』を開催します。

須崎市ボランティアセンターは、令和4年度から再始動し、現在まで多くの皆さまにボランティア登録をしていただいています。

このたび、ボランティア活動の魅力ややりがいを改めて知っていただき、より充実した活動への第一歩、二歩を踏み出すきっかけとなるよう、「ボランティア講座」を開催いたします。

お申込みのうえ、ぜひご参加ください。

【開催日時】 令和8年1月29日(木) 14:00~15:30(開場 13:30)

【場 所】 須崎市立市民文化会館 大会議室B

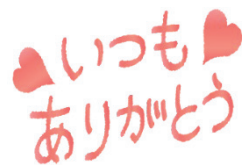
【対 象 者】 須崎市ボランティアセンターに登録のある方、またはボランティアに興味のある方

【スケジュール】

時 間	内 容	講 師
14:00~	開会・オリエンテーション	
14:05~	須崎市におけるボランティア活動の変遷	須崎市社会福祉協議会 事務局長 森本 智宏
14:20~	講 演 続ける理由、始める勇気 ~夢一座と考えるボランティアの魅力~	特定非営利活動法人 唄と踊りの夢一座 代表 岡田 道代 氏 小松 進 氏
14:50~	休 憩	
15:00~	公 演 歌と踊りでつながる心~夢一座ステージ~	
15:20~	ボランティアセンターからのお知らせ (ボランティアニーズの紹介など)	

～須崎市社会福祉法人連絡会より～

第4回フードドライブキャンペーン ご協力ありがとうございました！



令和7年10月1日～11月30日まで『第4回フードドライブキャンペーン』として市内の各社会福祉法人(須崎福祉会・あおば会・須崎市福祉事業協会・須崎市保育協会・須崎市社会福祉協議会)と各公民館、市内保育園、フジ須崎店、J Aとさっ子広場、こうち生協須崎支所で食品の寄付受付を行い、市民の皆さまのご協力・善意のおかげでたくさんの食品が集まりました。

集まった食品については、12月15日～19日の間に食品譲渡会を実施し、物価高騰などの影響で生活にお困りの方々にお渡しさせていただきました。

須崎市社会福祉法人連絡会とは

須崎市内の社会福祉法人が連携し、個々の法人が持つ資源や専門性をつなぎ合わせ、住民や他機関との連携のもと、社会福祉法人の責務である地域における公益的な取り組みを実践する事を通じ、地域共生社会の実現に寄与することを目的に発足しました。

令和7年度 第42回 須崎市社会福祉大会

- 日 時 : 令和8年2月21日(土) 13:30～15:30
- 会 場 : 須崎市立市民文化会館 大会議室(須崎市新町2丁目7-15)
- 主 催 : 須崎市・社会福祉法人須崎市社会福祉協議会
- 内 容 : ①式典行事
②講 演 「ボランティア活動の和・輪・わ」
さんすい防災研究所 代表 山崎 水紀夫 氏
- 対 象 : 地域活動やボランティアに関心のある方であればどなたでも
- 問合せ : 社会福祉法人須崎市社会福祉協議会
第42回須崎市社会福祉大会事務局 ☎0889-42-0736

料理教室(須崎市生活訓練等事業) 第2回目開催のご案内

令和7年度須崎市生活訓練等事業として、障害のある方が家庭で気軽に作れる料理や栄養バランスのとれた食事を学ぶことで、生活の質的向上を図ることを目的とした料理教室を開催しています。(第1回目は12月22日(月)に開催済み)

第2回目を令和8年3月6日(金)に開催します。詳細についてはチラシによるお知らせの他、令和8年1月下旬頃までに須崎市社会福祉協議会のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

【お申し込み、お問い合わせ先】地域福祉推進係 ☎0889-42-0736